

## 第7回 LCV「諏訪圏情報BOX」

- **放送日** 令和5年9月5日(火)、12日(火)
- **テーマ** 「諏訪湖創生ビジョン」について
- **出演者** 諏訪地域振興局 企画振興課 大林 輝圭

- 聞き手とのやりとり(概要)

(Q) 諏訪湖畔も爽やかな風が吹き抜ける時期となりました。10月1日は「諏訪湖の日」だそうですが、これはいつ制定されたのですか。

(A) はい、令和元年に「諏訪湖創生ビジョン」を官民協働で推進している「諏訪湖創生ビジョン推進会議」で制定しました。

(Q) 「諏訪湖の日」を制定したのはなぜですか？

(A) 諏訪湖は以前、水質の急激な悪化によって、緑色のアオコやユスリカが大量発生し、大きな問題となっていた時期がありました。現在は地域の皆さんの努力や、下水道の整備によって、泳ぐことができるほど水質は改善されてきています。

その一方、諏訪湖がきれいになるにつれ、湖に対する関心が下がっているのではないかと言われています。また、最近では、ヒシなどの水草が大量発生したり、河川からの土砂流入によって諏訪湖が浅くなり水上アクティビティへの支障がでるなど新たな課題も発生しています。こういった課題を地域一体で解決することが求められるようになってきたからです。

(Q) 美しく、また親しめる湖を守り続けるということは、簡単にできることではないですね。

(A) そうですね。そこで、諏訪湖創生ビジョンの掲げる20年後の将来像「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」をめざして、より多くの方が諏訪湖に関心を持ち、それぞれができることに取り組んだり親しんだりするきっかけになるよう、諏訪湖の日を制定しました。

(Q) なるほど、そのような経過があったのですね。なぜ10月1日なのでしょう？

- (A) 水質の改善には、下水道の整備が大変重要な役割を果たしてきたのですが、約40年前の昭和54年10月1日が、諏訪湖流域下水道の一部利用を開始した日なんです。諏訪湖浄化に第1歩を踏み出した記念すべき日ということで、10月1日になりました。
- (Q) 「諏訪湖の日」にあわせて、9月から10月にかけては「諏訪湖の日プロジェクト」という企画があるそうですね。
- (A) はい。10月1日だけでなく、概ね9月～10月に行われる、諏訪湖に関連した取組を「諏訪湖の日プロジェクト」として、集中的に情報発信しています。今年はコロナ禍明けはじめてということもあり例年以上の様々な企業・団体様が企画を考えてくださっています。
- (Q) なるほど。どのような企画があるのでしょうか？
- (A) はい、10月1日には、「諏訪湖の日」制定を記念したイベント「諏訪湖の日フォーラム2023」を開催します。「諏訪湖を楽しく学ぶ」をコンセプトに若い方やファミリー層向けの企画をご用意していますので是非多くの方にご参加いただきたいです。さらに同じ1日には、諏訪湖周の3市町でも諏訪湖に関連するイベントが予定されています。岡谷市では辰野町にある「しだれ栗展望台」から諏訪湖・八ヶ岳などの360°のパノラマ景色を堪能する「初期中山道ウォーキング・サイクリング」イベントが予定されていたり、下諏訪町では「第32回全国市町村交流レガッタ下諏訪大会」の決勝戦が、諏訪市では諏訪湖も含めた環境問題に取り組むきっかけの場として「くらしいきいきエコフェスタ」の開催が予定されています。この他、おなじみの諏訪湖周をウォーキングする「諏訪湖DEウォーク」や諏訪湖周のサイクリングロードを利用する「スイッチ」も開催中です。他にもたくさんの企画がございますが詳しくは県諏訪地域振興局の「諏訪湖の日」ホームページに掲載している「諏訪湖の日ガイドブック」をご覧ください。いずれにしても盛りだくさんの企画がございますので是非諏訪湖に訪れていただき、皆さんの思い思いの方法で、諏訪湖に親しんでいただきたいと思っております。